

第 45 回(2022 年度)  
大分県看護研究学会実施要綱

開催日 2022 年 11 月 26 日 (土)

時 間 9 : 15 ~ 13 : 00

会 場 大分県看護研修会館 (ハイブリッド形式にて開催)

主 催 公益社団法人 大分県看護協会

# 目次

I	開催概要	1
1	目的	1
2	日時	1
3	会場	1
4	テーマ	1
II	演題募集について	2～3
1	演題申込み期間	2
2	演題応募資格	2
3	演題申込み方法	2
4	原稿等の提出について	2
5	原稿の選考方法について	3
6	採択結果について	3
7	発表形式について	3
8	個人情報の取扱いについて	3
III	初めて研究に取り組む方へ	3
*	別添資料	
1	第45回(2022年度)大分県看護研究学会演題申込書(様式1)	1
2	発表原稿作成方法	2
3	大分県看護研究学会原稿提出用チェックリスト(チェックリスト1)	3
4	看護研究における研究倫理自己チェック表(チェックリスト2)	4
5	大分県看護研究学会原稿選考基準(別紙1)	5
6	発表領域の概要と内容(別紙2)	6
7	原稿作成の手引き	7～9

# I 開催概要

- 1 目的 大分県看護研究学会は、大分県看護協会の重点事業である「看護職の資質向上を図るための教育・研修等に関する事業」に位置付けており、研修や研究発表を通して教育目的である「社会のニーズに対応できる看護専門職としての自律をめざし、看護実践能力の向上を図る」ことをねらいとしている。

日本看護協会の発表領域を参考に7領域とし、急性期看護、慢性期看護、在宅看護、精神看護、ヘルスプロモーション、看護管理、看護教育のすべてを扱う。

- 2 日時 2022年11月26日(土) 9:15~13:00 (予定)

- 3 会場 大分県看護研修会館(ハイブリッド形式にて開催)

- 4 テーマ 「看護の創造性」 ～多様性を支える～

## 趣意

「看護を創造する」と聞くと“難しいこと”“大学や研究機関、スペシャリストといった特別な能力を持つ人がすること”といったイメージをもつ方もいるかもしれません。しかし、「看護の創造」は日々の看護実践の中に存在し、ケアに従事する看護職は毎日、毎日、新たな看護を創造しているといえます。

Radwin, L.E.は、個別性のある看護について「独自性をもつ個人として対象を理解し、対象の経験(病気・家族・社会的環境・趣味・余暇およびそれらに付随した問題)、行動(身体的症状・意思決定)、感情、知覚(経験の解釈)に対応した看護を創造すること」(Radwin & Alster 2002)と定義しています。つまり、我々看護職が個別性のある看護をめざしてケアを提供するとき、そこに看護は創造されるというのです。実践において、マニュアルや手順書に書かれている技術だけで看護が提供されていないという事実は誰もが知っています。個別性のある看護をめざしている看護職は、患者の背景(年齢や社会的地位、生活環境、価値観、信条等)や健康状態(疾患や治療、病状、病気による身体・精神的変化等)、ケアそのものに対する希望やニーズなど、多くの要素を基本的な技術に反映させるため、それまで培ってきた経験知と様々な学問領域の知識を最大限に活かして組み立て、その患者のためだけの、独自の看護を作り出し提供しています。100人患者がいたら100通りの、いえ、患者の状態は刻々と変化しているので、それに対応して何十、何百というパターンのケアを作り出し、看護は提供されています。だから、皆さんの日々の実践、それ自体が看護の創造だといえるのです。ただ、惜しむらくは創造された看護が個人、あるいは一病棟、一病院の“知”に留まっていることです。

そこで今学会では、日々の実践の中に埋没している“創造された看護”を掘り起こし、研究による新たな知見としてご発表いただきたいと考え、「看護の創造性～多様性を支える～」と題しました。“こんな普通のケア”“当たり前の配慮”“患者個々人に応じて提供しているから一般化できない”といった思い込みの中に看護学の新たな知見が隠れています。思い込みを捨て、自慢の実践を発表してください。それが他の看護職や病院・施設にとってはイノベーションを巻き起こすきっかけになるかもしれません。

実践の中にある本当の意味での看護を共に考え、共に学び、看護の専門性を再認識できる場となるよう学会への多数の参加をお待ちしております。

## II 演題募集について

1 演題申込み期間 2022年5月10日(火)～5月27日(金) 13時まで

### 2 演題応募資格

1) 発表者

(1) 大分県看護協会会員に限る(看護学生を除く)。

演題応募の時点で2022年度の入会手続きを完了していること。

(2) 看護学生：若干名(特別枠)

### 3 演題申込み方法

1) 演題申込書(様式1)をメールもしくは郵送で下記学会事務局宛に送付。

\* 演題申込書は、大分県看護協会のホームページよりダウンロード可能。

\* 連絡先は、確実に連絡がとれる住所・電話番号を記載のこと。

\* 発表領域については、別紙2(別添P6)参照。

2) メールで申込みの場合、件名は「演題申込 氏名〇〇〇〇(発表者名)」とし、演題申込書を必ず添付すること。

3) 申込書確認後、学会事務局よりメールで連絡します。5日以内にメールが届かない場合は、学会事務局へ電話でご連絡ください。

\* メール申込みの場合：申込書が送られてきたアドレスへ返信

\* 郵送の場合：申込書記載のアドレスへ送信

大分県看護協会 学会事務局

〒870-0855 大分市豊饒二丁目7番1号

TEL：097-574-7362

Mail：[gakkai-j@oita-kango.com](mailto:gakkai-j@oita-kango.com)

### 4 原稿等の提出について

原稿締切：2022年6月30日(木) 13時まで

1) 提出書類

(1) 原稿(様式2)

・作成方法は、原稿作成の手引き(別添資料P7～P9)を参照。

(2) 大分県看護研究学会原稿提出用チェックリスト(チェックリスト1)

・看護研究における研究倫理自己チェック表(チェックリスト2 提出不要)を参照し、規程通りに原稿が作成されているか確認する。

\*上記資料は、大分県看護協会のホームページよりダウンロードができる。

2) 提出方法

\*メール([gakkai-j@oita-kango.com](mailto:gakkai-j@oita-kango.com))のみで受け付ける。

メールの件名は「学会原稿 氏名〇〇〇〇(発表者名)」とし、送信。

確認後事務局よりメール返信する。

## 5 原稿の選考方法について

「大分県看護研究学会原稿選考基準」別紙1にそって学会委員が査読し、選考する。

- \* 査読後、修正が必要な場合はコメントを付けて、発表者に原稿を返信する。
- \* 発表者は、原稿を再考・修正して期日までに学会事務局宛に返信する。
- \* メールのは件名は「学会修正原稿 氏名〇〇〇〇（発表者名）」とする。
- \* 採択は、修正原稿提出後に決定する。

## 6 採択結果について

採択結果は、施設代表者および個人宛に、8月30日（火）頃に発送する。

## 7 発表形式について

- 1) 口演発表は、一題10分（発表8分、質疑応答2分）で会場発表する。
- 2) 示説発表は、会場およびオンラインでの口述発表は行わず、質疑応答の場を設ける。
  - \* 発表方法の詳細は採択決定後各自に通知する。
  - \* 学会運営の状況により、発表形式を変更する場合があります。予めご了承ください。

## 8 個人情報の取扱いについて

当協会の個人情報保護基本方針に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。当協会主催の看護研究学会実施に際して得た個人情報は、学会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて個人情報を取扱うことはいたしません。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取扱います。

## III 初めて研究に取り組む方へ

初めて研究に取り組む方は、大分県看護協会の一般研修、「やってみよう看護研究1～4」の受講をお勧めします。大分県看護協会研修計画一覧を参照してください。

大分県看護協会研修手帳 P34【新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修】

番号	研修名	会場/定員	研修日
53	やってみよう看護研究 1 テーマの絞り方から研究開始まで	【会場/オンライン】 70名	5/18（水）
54	やってみよう看護研究 2 量的研究と分析	【会場/オンライン】 50名	7/3（日）
55	やってみよう看護研究 3 質的研究と分析	50名	8/2（火）
56	やってみよう看護研究 4 看護研究のまとめ方とプレゼンテーション	70	8/23（火）